

はるなつあきふゆのたからさがし

D 自然愛護 小学校 低・中学年



ねらい

さまざまな植物を見つけることを「たからさがし」と呼んでいる作者の考え方を知り、植物の変化や美しさを見つけて楽しもうとする意欲を高める。

資料提示の工夫

授業開始と同時に、「素敵な絵本を見つけました」と言って、お母さんと5歳の娘「むく」が出かける場面のイラスト（資料①）と、お母さんの「むく、たからさがしにいくよー！」という言葉を示す。そして、「たからさがしってなんだろう？」と投げかけたあと、「それはね、をみつけること。」と、絵本の続きを一部隠して提示する。

思考を促す
発問

- 発問1 たからさがしとは、何を見つけることだと思いますか。
※子どもたちの考えを聞いたあと、空欄には「いろとりどりの 草や花や 木」が入ることを伝える。
- 発問2 ※続きに書かれている「いつものみちも まいにち ちがう」という文を提示して、発問する。
いつもみんなが通っている道や学校にある草や花や木は、毎日違うと思いますか（毎日違うと思えば○、違わないと思えば×を選ばせる）。
- 発問3 ※意見交流後、絵本の表紙と中身の一部（実施時期の季節に合ったページを選ぶとよい）を紹介して、発問する。
最近「たからさがし」をしましたか。どんな「たからもの」を見つけましたか。
※数名に発表させる。そして、「これからどんな『たからもの』が見つかるか楽しみですね」と言って、授業を終える。

ポイント

生活科と関連させて活用するのがおすすめ。また、季節による自然の違いや身近な自然の美しさに気づいて話しに来てくれた子には「たからものを見つけたね」と声をかけたり、学級で紹介したりするとよい。

出典： 矢原由布子作・絵、鈴木純監修『はるなつあきふゆのたからさがし』アノニマ・スタジオ
クレジット： 矢原由布子 鈴木純 アノニマ・スタジオ

資料①

